

# 女性の排尿障害

泌尿器科 一ノ瀬 義雄 (医師)



## 女性に多い膀胱炎—恥ずかしがらず受診を

今回は泌尿器科にはなかなかかかりづらい女性の代表的な病気についてお話しします。

女性に多い泌尿器の病気はやはり膀胱炎です。健康な人であれば膀胱炎は薬を飲まなくても自然に治ることもありますが、いくつかの注意が必要です。若い人の膀胱炎の原因菌はほとんどは大腸菌です。ただし、まれに性感染症の菌が原因とな

## 高齢者に多い過活動膀胱—症状改善できます

「おしっこが近い」や「尿が漏れる」、「おしっこが我慢できな

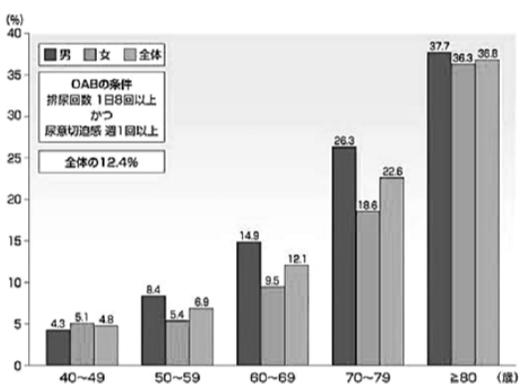
まず最初に強調したいのはこの「過活動膀胱」は高齢化に伴い必ず増える病気であること、また症状の改善が可能な病気であること、一度泌尿器科で相談してみてください。

一方、高齢者の膀胱炎ではその影に別な病気が隠れていることもあります。膀胱に結石や腫瘍があって膀胱炎のような症状を起こすこともあり、やはり症状が長引く場合や頻繁に膀胱炎を繰り返す方は要注意です。

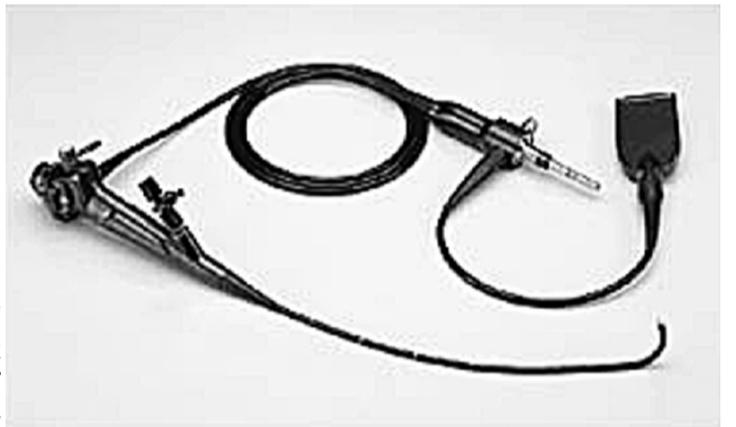
膀胱炎は外来で治療ができる病気ですが、菌が腎臓に感染した場合、腎盂炎となり、腎盂炎の特徴は高い熱と腎臓のところが

# 原因はさまざま。早めの受診で重症化を防ぐことが大事です。

過活動膀胱(OAB)の有病率



本間之夫ほか:日本泌尿器科学会誌14(2):266, 2008  
日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン, 2005



膀胱の中を観察する検査に用いる

## 新しい膀胱ファイバー導入

泌尿器科で嫌がられる検査の一つが、「膀胱ファイバー」だと思

つたと喜ばれていきます。都心ですばやい診断ができる泌尿器科として今後も設備を含め診療内容を充実していきたいと思

目瞭然なのでとても大切な検査なのですが、やはり尿道にカメラが入るといのは苦痛を伴います。外来で患者さんから「昔、泌尿器科でも痛い検査をやられて散々だった」と言われることもあり

今までも当院では硬性鏡というタイプの硬いカメラでしたが、やっと胃カメラのような電子ファイバー(軟らかく細いタイプ)になりました。特に男性の検査では以前と比べ検査時の痛みが少なくな

## 神宮外苑の銀杏



撮影—渋谷区・三浦 進

また、チャンピックスは少量のドパミンを放出させる働きもあり、ニコチンによる禁煙中のつらい禁断症状

を和らげます。チャンピックスの飲み方はやや複雑で、最初の1週間は喫煙を続けながら薬の量を徐々に増やし、8日目から禁煙します。これは、副作用の吐き気がでないように徐々に薬の量を増やし、慣らしていくためです。

## くすりの話あれこれ 47

### 飲む禁煙補助薬

大河内明子 (薬剤師・たくみ外苑薬局)



また、吐き気の予防として必ず食後にコップ一杯の水か、ぬるま湯で飲みます。服用中に不快な症状や禁煙中のつらい症状が現れたら、医師や薬剤師に話してください。医師や薬剤師の助言で禁煙を続けていきましょう。禁煙中は、「1本位なら大丈夫」と思って吸ってしまつと、そのま